

保険・年金 フォーカス

エマージングリスクの検討状況

昨今の動きと北米での意識調査の概要

保険研究部 主任研究員 安井 義浩
(03)3512-1833 yyasui@nli-research.co.jp

1—エマージングリスクの内容

1 | エマージングリスクの定義と分類

米国アクチュアリー会（SOA）等が、北米の保険会社のリスク管理担当者に「エマージングリスクについてのアンケート調査」（Emerging Risks Survey¹）を行い、結果を4月上旬に公表した。内容はあとで紹介することにして、それをきっかけに、今回はエマージングリスク全般についての話をすることとしたい。

エマージングリスクとは、文字通り新興のリスクという意味で、「今思いつきもしないが、起こる可能性が考えられる事象で、発生すると経営上大きな影響のあるもの」ということになる。思いつきもしないものを考えておくというのが、難しいところではある。そこまで極端ではなくとも、例えば「再びリーマンショックのような金融・経済の大混乱が起きること」「未知の病気が大流行すること」など、これまでの経験から想像ができるものも含めている。あるいは「アスベストの害が（突然）判明したために、建物補修に思わぬ多額の費用がかかったり、賠償責任が生じること」も、発生以前は思いつきもしなかったリスクであったろう。

さて、『どのようなものがエマージングリスクとして考えられるか、実際にどれが起こりそうか』という意識調査や情報提供が、現在、世界のいくつかの機関によって、行われている。

世界経済フォーラムが定期的に作成しているレポート（最新版は、Global Risks 2014 ninth edition²）においては、エマージングリスクを大きく5つ（経済、環境、地政、社会、技術革新）に分類し、それをさらに細分化した具体的な事象を挙げて、そのインパクトおよびその発生可能性、連動性などを検討している。挙げられているのは以下のようなものである。

¹ Emerging Risks Survey <http://www.soa.org/Research/Research-Projects/Risk-Management/2013-Emerging-Risks-Survey.aspx>

² Global Risks 2014 Ninth Edition <http://www.weforum.org/reports/global-risks-2014-report>

分野	主な事例	
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・主要国の財政危機・破綻 ・主要な経済メカニズム・制度の崩壊 ・流動性危機 ・失業率の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・原油価格高騰の世界経済への影響 ・重要な経済基盤の崩壊 ・主要通貨としての米ドルの重要性の低下
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・異常な天候による災害(洪水、嵐、火事) ・その他の自然災害(地震、津波、火山噴火、磁気嵐) ・重大な人的災害(原油流出事故、原発事故) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な生物多様性の喪失・生態系崩壊 ・水不足 ・気候変動への対応の失敗
地政学	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルガバナンスの失敗 ・地政学的に重要な国家の政治崩壊 ・賄賂・汚職の増加 ・組織的な犯罪と不正取引の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・巨大なスケールでのテロ ・大量破壊兵器等の配置 ・民族・地域間の紛争 ・経済・資源の国営化の拡大
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧危機 ・疫病の流行 ・慢性疾患患者の増加 ・重要な政府・社会の不安定化 	<ul style="list-style-type: none"> ・極端な所得格差 ・抗生物質が効かないバクテリア ・都市化の欠陥(設計の失敗、不十分なインフラ・サプライチェーン)
技術革新	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な情報基盤・インフラの破損 ・巨大なスケールでのサイバー攻撃の増加 ・大量のデータ不正・窃盗の発生 	

世界経済フォーラム Global Risks 2014 Ninth Edition より 表作成は筆者

2 | 北米におけるエマージングリスクについてのアンケート調査の結果

冒頭に挙げた北米での調査というのは、米国アクチュアリー会、カナダアクチュアリー会、損保アクチュアリー会、が共同で実施したもので、主に北米の保険会社がどのようなリスクを念頭においているのかを見ることができる。これは2008年からほぼ一年に一度定期的に行われており、2013年10月が7回めとなる。各社リスク管理担当者へアンケートをしたところ、223社の回答があったとのことであり、この結果が2014年4月に公表された。

リスクの大分類は、上記の世界経済フォーラムのものと同じ5つである。その結果、『将来2～3年のうちに起こりうると感じるエマージングリスクとしてひとつ選ぶとすれば』という質問に対し最も多かったのは経済リスクであり、回答者全体の33%であった。なおこれが現在すぐにでも起きそうだとする回答は50%であり、2～3年のうちにこのリスクが減少していくと考える会社が多いことになる。

以下、地政学リスク（現在17%－将来27%） 社会リスク（現在11%－将来16%）

環境リスク（現在9%－将来11%） 技術革新（現在8%－将来11%）

の順となっている。経済的状况は好転する一方で、特に地政学リスクがなんらかの地域紛争等により将来顕在化するのではないかとという不安が伺われる。

また、『さらに具体的なリスク（上の表でいうと主な事例のレベル 分類方法は若干異なる。）について、5つ選ぶとすれば』という質問に対しては、上位を挙げると

財務の変動 59%（前年 62%） サイバーセキュリティ 47%（前年 40%）
資産価格の暴落 30% 人口構成の変化 30%・・・と続く。

「サイバーセキュリティ」の増加は、特に会社のデータ保護の仕組が脆弱であり対策を訴える声が増加していることを反映している。

今回、興味深いこととして挙げられているのは「負債サイドの制度・規制の強化」がエマージングリスクのひとつであるという回答が前年の8%から23%に急増していることである。国際的に健全性規制が急速に強化されることに、体制・コストの面ですぐには対応できないのではという不安が表れているのもであろう。(この中にエマージングリスク管理そのものも含まれているのだが。)

なお、このような結果は、主に北米の保険会社の意識であって、仮に日本でこのようなアンケートをとれば、地震・噴火・その他の自然災害が常に上位にくるのではなかろうか。個々の会社の置かれた地域的・政治的な状況によっても、各社が考える当面の課題は異なってくるものと思われる。

2—保険会社の健全性規制の中でのエマージングリスクの取扱

さて、保険会社の健全性規制の中では、統合的リスク管理(ERM)を推進することが注目される中で、エマージングリスクについても、十分考慮にいれることが求められている。しかし、すぐにリスクを特定し定量化されるわけでもないため、具体化な内容は検討途上のようなものである。

欧州のソルベンシーIIの中では、いわゆる第二の柱の中で、リスク管理の方針として、エマージングリスクを特定し、その対策を講じることが求められている。

2013年9月に、欧州保険年金監督機構(EIOPA)より発出されたガバナンスに関するガイドライン³の中にリスク管理方針について触れられており、ガイドラインそのものの中では「エマージングリスク」という単語は使われていないが、その解説に「エマージングリスクとは、あらたに発生したり、変化するリスクで、計量化が難しいが、企業に大きな影響を及ぼすようなリスク」と定義し、保険会社のリスク管理方針はそれらも含めてカバーすること、と一旦は記載されている。

米国においては、全米保険監督官協会(NAIC)の資本充分性検討部会(Capital Adequacy(E)Task Force)を中心に2014年の検討課題として真っ先にあげられている⁴ので、具体的な規制が近い将来作られるものと思われる。

3—おわりに

エマージングリスクについては、リーマンショックなどの金融危機やアスベストの問題などの近年の経験から、常に意識しておかねばならないという点はあるが、それを計量化することはおそらくいまの段階では大変困難である。

また、ほかにどんなリスクが出てくるか、常にウォッチしておく必要がある。そこで上記のような調査を通じて、経営者、実際の業務遂行者といった様々な立場からみた情報を共有することが必要なのだろう。筆者の所属する、研究所といった機関もまた、保険業務から少し離れた立場で、新しいリスクの兆候があれば捉えられるように、さらには規制にどのように組み入れられるかを調査している最中でもあり、今後とも広く情報をウォッチし、発信したりしていきたいと考えている。

³EIOPA ガバナンスシステムのガイドライン

https://eiopa.europa.eu/fileadmin/tx_dam/files/consultations/consultationpapers/CP08-13/EIOPA-13-413_Final_Report_on_CP8.pdf
Guideline16 Risk Management Policy

⁴NAIC 各タスクフォースの活動計画 http://www.naic.org/committees_e_capad.htm